

## 北産業団地で地鎮祭 ～株式会社バイオマスレジン福島が新工場を建設～

2月8日、株式会社バイオマスレジン福島（本社：福島県南相馬市）が新設する工場の地鎮祭が北産業団地で行われました。

新設する工場は、お米（非食用米）から作るバイオプラスチック「ライスレジン(※)」を製造し、令和4年秋の操業を予定、初年度には10～15人程度の雇用を計画しています。

地鎮祭では、浜佐代表取締役、吉田町長らが鍬入れをし、玉串を奉納しました。



挨拶をする浜佐代表取締役

鍬入れをする吉田町長

(※) ライスレジンはお米を原料とするため、地上の二酸化炭素を増加させず、従来のプラスチックと同等のコストや成形性、強度を持つバイオマスプラスチックのことであります。

問 産業振興課産業創出係 TEL 0240(34)0248

## 原子力損害賠償紛争解決センター(ADRセンター)から皆さんへ

「東京電力から示された金額では納得できない」など、原発事故による損害賠償請求において困っている人を対象に、中立・公平な公的機関「ADRセンター」が無料で仲介します。

☎0120(377)155（月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)10時～17時）

### 《和解事例》

浪江町に居住していた申立人について、原発事故の直前に父を亡くし、自宅に父の遺体を残したまま避難せざるを得ず、適切な時期に適切な方法によって父を弔うことができなかったことに係る慰謝料が認められた。また、避難後に居住地外の火葬場で父を火葬せざるを得なかったところ、避難先に住民票登録がないために申立人が支払った火葬炉使用料と住民票登録がある場合の火葬炉使用料との差額分の賠償が認められた。【公表番号1746・令和3年1月29日成立】

### 《和解事例》

浪江町から避難した被相続人とその介護にあたった同人の次女である申立人について、被相続人が要介護の認定を受けた平成29年6月から同人が亡くなった同年7月までの2か月について、日常生活阻害慰謝料（増額分）として、それぞれ月額10万円の増額（合計40万円）が認められた。

【公表番号1752・令和3年2月24日成立】

※これらは、申立人の個別事情に基づいた和解例であり、一般的に適用される基準ではありません。

問 総務課賠償支援係 TEL 0240(34)4638



住んでいたいまち  
住んでみたいまち

なかよく みんな えがおの  
花咲くまち なみえ

町が行っている取組についてお知らせします

## 三井住友海上火災保険(株)と 連携協定を締結するとともに、寄附金をいただきました

2月7日、浪江町と三井住友海上火災保険株式会社はゼロカーボンシティの推進を始めとする復興まちづくりについて、包括連携協定を締結しました。

同社は、脱炭素化を支援する商品・サービスなどを提供していくことで社会全体のカーボンニュートラルを推進しています。水素を含む再生可能エネルギーの利活用に向けて、様々な課題の洗い出しや改善策のご提案などをいただき、新しいエネルギーの社会実装に向けて前進することが期待されます。



(左) 三井住友海上火災保険株式会社 藏田 順 執行役員東北本部長

また、同社は保険業界で初めて中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」として認定を受けており、その知見を活かし町内事業者などの経営サポートを行っていただくとともに、移住定住の推進や震災記憶の伝承に関してもご尽力をいただき、持続可能なまちづくりに向けて、共に推進していきます。

あわせて、同社より町の「なみえ水素タウン構想」に対し、東日本大震災およびそれに伴う原子力災害からの復興と脱炭素社会を具現化するため、寄附をいただきました。今後、ゼロカーボンシティや水素タウン構想実現に資するよう、有効に活用させていただきます。

問 産業振興課新エネルギー推進係 TEL 0240(23)5713

ここからは広告です。